

2008年米国交通事故の概要

掲載日	2009年
国名	アメリカ
分類	安全
出典	アメリカ交通局(US Department of Transportation)HP
タイトル	Traffic Safety Facts 2008 Data

2008年、米国では警察に報告された自動車交通事故は約**581.1**万件に上り、それにより死者数は**37,261**人、負傷者数は**234.6**万人、また物損事故件数は**414.6**万件となっている。死者数は**2007**年の**41,259**人より約**10%**減少している。毎日の自動車事故死者数は平均で**102**人、**14**分毎に**1**人が交通事故死になる計算。全米道路交通安全協会(NHTSA)の推定によると、**2008**年にシートベルト使用により**13,250**人の命が救われた。また、**2008**年のアルコール起因の交通事故死者数は**11,773**人で、年間交通事故死者数の**32%**に上り、その内最も高い割合を記録したのは**21-24**才の若人である。

速度超過による交通事故の年間経済損失額は約**404**億ドルとなっている。特に**15-20**才男性の若者における交通死亡事故の約**37%**は速度超過によるものと推定された。**2008**年の速度超過による死者の**88%**は州際高速道路以外の一般道路で起きている。

2008年の二輪車事故死者数は**5,290**人、年間交通事故総死者数の**14%**を占める。また、**96,000**人が二輪車事故で負傷している。台キロあたりの交通事故による死亡の可能性は、二輪車事故が乗用車より**37**倍高くなる。二輪車死亡事故者数の**37%**は速度超過に起因するものと推測される。

また、交通事故死者数**9**人のうち**1**人は大型車との追突事故によるものである。乗用車事故の乗員死亡者数の**27%**は車外放出され、半数以上(**55%**)はシートベルト未着用であった。

高齢者の交通事故死亡者数は、全交通事故死亡者数の**15%**、歩行者死亡者数の**18%**をそれぞれ占める。

出典：<http://www-nrd.nhtsa.dot.gov/Pubs/811162.PDF>